



園長のおたより 4月

*挨拶

こども園の桜も咲き始め、春を感じられる季節となりました。さて、今年度も園長を務めさせていただく押部直也です。印西ひかりこども園の開園当初から6年間副園長として勤務しており、今年度で園長3年目となります。至らない点多々あるかと思いますが、引き続きのご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

…開園当初はまだ20代だったなあ。…いつの間にか中学生になった卒園児もいるなあ。と、月日の移ろいを振り返ることができる素敵な年齢になりました。(笑)

*園長だよりの「新しい試み」という名の業務委託

園長に就任してから、私自身が考える思いを言葉にして発信する場として『園長だよりの』を作成しております。保育の内容や行事の変更点、考え方などをできる限り熱い思いや理由、根拠などもあわせて保護者の方々や、地域の方々へ伝えていこうと思いスタートさせております。

ただ、今まで読んでくださっている方々には周知のとおりだと思いますが…、書きたい事や伝えたい事は頭の中で溢れる程に浮かんでいますが、それを形にするための集中力の継続と時間の使い方が恐ろしく苦手な園長のため、“書けるときに書く”という不定期での配信となってしまっております。

そして、数か月前にふと定期的に配信できる「新しい試み」が浮かびました。それは“副園長や主幹教諭の2人にも一緒におたよりを書いてもらおう！”ということでした。3人で順番に思いを発信する場にできれば、より色々な角度からお伝えできるし、きっと2人も思いを伝えられる場が欲しいはず！と勝手に決めつけて2人に相談してみました。優秀な2人ですから、私の思いはすぐに理解してくれます。そして、私の相談に対して二つ返事で快く(?)受け入れてくれました！(笑)

そんな経緯があり、今年度から「新しい試み」として毎月の園だよりと合わせて、園長(押部)、副園長(内田)、主幹教諭(大井)の3人で順番におたよりを配信することにいたしました。「新しい試み」というより業務委託に近いですが…(笑)、2人のおたよりも楽しみにしていただければ幸いです。

※ 過去のおたよりはこちらから。園のホームページ → 園からのお手紙 → 園長だよりの
<http://www.inzai.hikari-kamagaya.ed.jp/index.php?%E5%9C%92%E3%81%8B%E3%82%89%E3%81%AE%E3%81%8A%E6%89%8B%E7%B4%99>

裏へ続きます！ ➡

＊今年度からの変更点 ー現金での受け取りの廃止についてー

今年度より、集金袋等による現金での受け取りは廃止とさせていただきました。名札などの道具の購入、1号認定の預かり保育や2・3号認定の時間外保育の申請方法も変更となり、**基本的にレーザーキッズアプリでの申請となります**。今まで現金を利用されていた保護者の方々にはご不便をおかけいたしますが、ご理解をいただきたいと思います。

変更の大きな理由は、人的なミスをなくすこと、利用（購入）履歴が残る申請にすることです。キャッシュレス決済の導入等も含めて色々と検討しましたが、なるべく既存のシステムを利用しておとなの混乱を減らせる方法を優先し、今回の変更内容とさせていただきました。申請の仕方や不明点等ありましたら遠慮なく事務所にお声を掛けていただければと思います。

その他にも1号認定の送迎場所の変更や、3歳児～5歳児クラスからのお昼寝、運動会についても少し変更をさせていただいております。なるべく変更理由や根拠などをお伝えし、保護者の皆様にご了承いただけるよう努めてまいりますので、ご理解をいただければ幸いです。

また、アンケートのご協力もありがとうございました。貴重なご意見、心より感謝申し上げます。いただいたご意見全てに返答ができないかもしれませんが、なるべくご意見に返答する形式で後日配信していこうと思っております。少しお時間をいただきますが、宜しくお願いいたします。

＊今年度も根拠に基づいた保育の提供、誰もが安心できる施設を目標に

今年度も引き続き、帝京短期大学の特任講師として兼務させてもらえる事になりました。保育の研究に携わり、学生に教えることで自分自身のスキルの向上を図ると共に、この印西ひかりこども園が、保育学の根拠に基づいた保育を実践することの一助となれればと考えております。

そして今年度は『子育て支援』『実習指導』『子ども家庭支援論』『特別支援教育』と、昨年よりさらに任される教科が増えました。そんな私の最近の課題は、どうやったらワンオペ中(0歳と4歳の育児)の妻に怒られずに生活できるか！です(笑)。“帰るのが遅い”“話を聞いていない”“言われたことをすぐに忘れる”“家に帰っても仕事をしている”などなど…。世のお父様方、私に素敵なアドバイスをご教授ください…(笑)。

私自身が仕事と子育ての両立の難しさを痛感しているからこそ、保護者の方々の苦しい部分に手を差し伸べられる園でありたい。子ども達の成長と一緒に喜べる園でありたいと思っております。毎年お伝えさせていただいておりますが、子ども達が安心して通える、保護者の方々が安心して預けられる、そして職員も安心して働ける園になることを今年度も目標にして、園長として日々努力することを約束し、私の挨拶とさせていただきます。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。